

行事や活動の見直しガイド

地区では、防災や環境整備、住民交流など、様々な活動が行われています。しかし、人口減少も、高齢化も進んでいます。昔のように、同じ行事や活動を、同じようにはできなくなってきました。しかし、これら行事や活動を「やめてしまえばいい」ということにはなりません。今、必要なのは、状況の変化に対応できるように、行事や活動の目的を再確認し、より効率的、効果的な活動ができるようにすることです。そのための、見直しポイントを挙げてみましたので、参考に再検討してみてください。

3つの検討ポイントにそって各活動を見直していきましょう

- ①行事、活動の見直し
- ②会議の見直し
- ③組織の見直し

◆行事、活動の見直しポイント

活動の根幹にかかわることです。最適化をすることで、せつかくの活動をさらによいものにし、暮らしやすい地域にすることができます。

①何のため、誰のため？～最初にみんなで確認しましょう～	
行事、活動の目的は何ですか？	これが一番大事です。 いま一度、みんなで確認してみると、新しい発見も出てきます。
参加者の年齢が変わっていませんか？	子どもが減り、高齢者が増えています。 同じ活動を続けていて、目的が達成されますか？
参加者は減っていませんか？	農業従事者は減り、会社勤めが多く、夫婦の共働きも多いです。 子供は減り、高齢者の独居は増えています。活動によって、参加者が減る要因はたくさんあります。さらに必要とされている内容へのシフトチェンジが必要かもしれません。
②活動内容を確認～詳細について検討しましょう～	
目的と内容はあっていますか？	交流が目的なら、交流の場をしっかりと確保しましょう。活動が目的なら、会議やイベントよりも活動できる時間を増やしませんか
内容を変えた方が、効果が上がりませんか？	住民が必要としていることに対応できる直接的な活動の方が、効果はありますよね。内容の見直しを毎年行いましょう。
どうせ、やるならしっかりと	適当にやっても、本気でやっても、同じ時間がかかります。 ならば、しっかり結果を出せるようにしませんか？
③併せる、たまにやる、やめてみる～では具体的にどうしたらいいのか？～	
他の団体や地区が同じような行事や活動をやっていませんか？	人手が減り、高齢化もすすみ、同じことを2回やる余裕がなくなってきました。せつかくの活動ももったいない。
他の団体、地区と一緒にやった方が効率的、効果的ではありませんか？	併せることで、負担を減らし、効果を上げることも。やれなくなるなら、併せて残すことも
隔年など、たまにやる、他の行事と交互にやる、思い切ってやめてみる	2年に一度とかでも良い行事も。思い切ってやめてみる
有志が中心でやる	町内全体でやる行事と特定の団体がやる行事が混同していませんか？（販売が主たる目的であれば、プロである販売関係者が中心になったほうが効果的かも）

◆会議の見直しポイント

貴重な時間を割いて集まる会議。できる限り効率よくおこないたいものですね。

会議の目的をもう一度考えましょう	情報伝達なのか、意志決定なのか、意見徴収なのか、そして必要なのか。
会議の開催日を考えてみましょう	違う会議なのに、来るメンバーがほとんど同じ。ならば、同日に時間をずらすなどの調整をするのがいいかもしれません。
検討する必要のない情報提供や、結果の報告なら、会議を開く必要はないのかもしれない。	情報の提供や共有、結果の伝達だけなら紙を配布したり、FAXやインターネット、携帯で資料を撮影し、送るなども有効。インターネットを使うと情報伝達が早く、費用も安いため、若い世代に限らずとも、LINEなどで一斉連絡をする人が増えています。
参加者全員が、意見や情報提供を言える場にしませんか	せっかく集まってくれた様々な世代の人が、思うことを言わない会議は、もったいないと思いませんか。

◆組織の見直しポイント

組織を継続していくために必要な組織のサイズ。人が減っていくなかで、再度検討する必要があるかもしれません。

役員の数が多すぎませんか？	実際に活動をするのか、会議に出るだけなのか あて職になっていませんか
同じようなメンバーの同じような組織がありませんか？	メンバーがほとんど同じなら、合併するほうが、効率的ではありませんよね。
行政からの指示で組織していませんか？	街中の数万人の町内と一緒にされると困りますよね。困ると行政に言いましょう。時間はかかるかもしれませんが、でも、現状を知らない行政担当者がとても多いです。